

令和三年度

第4四半期

事業報告（資料）

社会福祉法人 明和会

令和3年度

事業目標と結果 (事業所名:総務課)

(全体総括)

ルーティン業務や就業規則変更に係る全事業所及び部分的な職員への規則説明にかなりの時間を要した。法人が規定している各種規程の改定を行うに際し、各施設長などからの意見を参考に優先順位を付け、タスク管理を行いながら年度内中に一つでも多くの規程改定が実施できるように進める。

問題/課題	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
①【問題】 ・法人内の規程が更新されていない。 【課題】 ・法人として必要な規程の内容精査と更新をおこなうこと。	事業所、社労士、法務担当理事等、専門職からの助言に基づいた方向から、法人事務局の協力を得ながら協同し整備を行う。	・前期で整備し承認を得た各規程に関する各事業所からの質問に対し丁寧に説明を行う。	・介護職員の処遇改善に係る臨時支援補助金取得へ向け、必要な規程（各賃金規程）の修正を社会保険労務士事務所の協力を得て実施した。また、事業所施設長の要望から社宅管理規程を司法書士の協力を得ながら整備した。なお、各規程内容はzoon等で説明を行った。	内部管理体制整備の1年目として、法人に必要な規程を整理・確定し、現状にそぐわない規程の更新を行う。
②【問題】 ・法人内で必要なルールが更新及び見直しされていない。 【課題】 ・スムーズな組織運営に必要な法人ルールの整備を行うこと。	ルールを必要とする法人内事業所等からの意見に基づき、各ルール創りにおいては関係者との意見交換から共同し整備を行う。	・現在整備済みで修正が必要な規程に優先順位をつけ、各事業所施設長などからの意見を取り入れ修正を開始する。	実施出来なかった。	法人内に必要なルール等の環境整備について、事業所からの意見を聴取しながら、司法書士や社労士等外部機関の協力を得て整備する。

令和3年度

事業目標と結果 (事業所名： 総合施設課)

(全体総括)

令和4年度に向けて、福祉施設の組織体制については、16事業所を施設(建物)毎、或いは地域毎に7拠点にまとめ、各拠点に施設長を配置するとともに新たに副施設長及び係長職を設け事業所へ配置した。また、各施設の役職者等の配置換えを実施し、組織体制の強化を図った。
 大幅な体制変更に伴い人員配置の決定が遅れたため、採用育成プロジェクトや長寿命化計画を推進するメンバーを選任できなかった。令和4年度においては、それぞれのメンバーを決定し法人理念や行動指針を実践できる人財の採用と育成をするとともに老朽化した施設の長寿命化計画を進める。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
①【問題】 ・人財育成が不十分である。 【課題】 ・組織構成を行い、人財育成が行える基盤が必要。	人材育成が実践できる組織構成の基盤をつくる。	R4年度組織体制図が完成する。 採用育成プロジェクトを決める。	R4年度の福祉施設組織体制図を完成させた。 採用育成プロジェクトを選任することが出来なかった。	採用育成プロジェクトのメンバーを決定し、人財の採用と育成を実施する。
②【問題】 ・計画に基づく運営が上手くできていない事業所がある。 【課題】 ・円滑な事業所運営を行えるような支援活動が必要	施設(事業所)毎に安定した運営を行えるように、施設長が次年度の事業計画、予算を作成できる。	施設毎に令和4年度事業計画・予算が完成する。	令和4年度の新組織体制のもと、事業計画・予算を作成した。また、建物の長寿命化計画に向けて、設計会社を選定した。	体制が大きく変わったため、新体制のもと事業計画及び予算執行が計画的に実施できるよう情報共有を図る。 長寿命化計画を推進するメンバーを選任し、設計会社とともに具体的な計画を作成する。

令和3年度

事業目標と結果 (事業所名:情報・マーケティング課)

(全体総括)

・介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書を提出して、事業所の指定を受けた。
 ・問題解決に向けた情報発信では、YouTube動画配信等の撮影・編集研修を実施した。また、地域との交流事業では地元農家と新十津川農業高校、ほおずきの加工販売で新聞、ニュース等で明和会をPR。またInstagramへ投稿を行った。次期は問題確認と課題の抽出、宣伝戦略の計画を作成する。職員福利厚生では永年勤続表彰を実施、Instagramでの配信を行う。
 ・BCPは、厚生労働省のフォーマットにしたがって、様式(案)を作成した。次期は総合施設課及び各事業所と協議を行い、様式を決定する。

問題/課題	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
①【問題】 ・新十津川町内で不足しているサービスがある 【課題】 ・就労継続A型支援事業所の立ち上げ	新規事業所を開設する	新規事業所の安定経営	・関係機関（相談支援事業所、病院）の訪問（新十津川、滝川、砂川、赤平、芦別、美唄、深川） ・介護給付費の書類の提出 ・事業所の指定を受けた（2022.3.28付） ・職員の育成研修の実施（障がいについて、就労支援について）	・利用者の確保（養護学校等） ・A型作業用業務手順動画作成 ・就労内容の検討
②【問題】 ・法人のマーケティング戦略ができていない 【課題】 ・問題解決に向けた情報発信を行う	多くの人に明和会を知ってもらう	課題解決に向けた戦略計画の作成と準備	情報発信の準備 ・新聞等の紙面、ニュース等でほおずき商品開発に関わる明和会PR ・Instagramへの投稿（新年挨拶、新規事業利用者募集、永年勤続表彰の様子等）	・現状の問題確認と解決すべき課題の抽出 ・課題に向けた宣伝戦略の計画作成
③【問題】 ・BCP（事業継続計画）が更新されていない 【課題】 ・新型コロナウイルス感染症、自然災害が発生した場合、適切な対応で事業の継続ができない恐れがある。	BCP（事業継続計画）を更新して、各事業所で活用できる体制を整える。	様式の決定	・総合施設課及び各事業所と様式（案）についての協議未実施	・総合施設課及び各事業所と様式（案）について協議をして様式を決定する

令和3年度

事業目標と結果 (事業所名:法人事務局)

(全体総括)

生産性の向上について、タイムカードからWEB承認へ、紙で印刷し配布していた給料明細書もWEB明細を行った。勤怠管理についても所属長が確認、承認を行うことで、業務改善につなげることが出来た。次年度は本部以外の事業所への導入も試みる。また、業務マニュアルについても、新年度の新入職員に向けて、見やすい、使いやすいマニュアルを作成した。誰が見ても業務が行えるマニュアルを今後も作成していく。

法人共通経費の設定について、常勤換算数に対して実際の配置数を検証する予定でいたが、次年度の組織に大幅な変更が予定され、進行が遅れている状況であり、体制変更を含め、引き続き検討する。

事務局職員(5名)の時間外についても、R3年度は大幅な削減となり、「ワンチーム」として一年を終えることが出来た。

問題/課題	目標項目	目標水準	結果	次期へ向けて
・自立した事業所となるために生産性の向上が必要	・生産性向上による差引収益の増加	法人事務局差引収益 前年度+10万円	・勤怠システム、給料計算システムを変更し、本部内だけではあるが、給料明細書もペーパーレス化を図ることが出来た。 ・次年度の体制編成に伴い、業務マニュアルを作成した。実際に活用し、追加、修正等行うことが出来た。	・他事業所でも導入の声が上がっているため、業務改善につなげられるよう進めて行く。 ・新入職員が業務マニュアルをみて業務ができるよう、不明点等あれが都度更新をし活用していく。未作成のマニュアルもあるので引き続き作成を行う。
・法人全体の健全経営の為に尺度が必要	・納得のいく法人共通費の設定	モデル時間当たり採算表の作成	組織の大幅な変更が予定され、進行が遅れている状況であり、体制変更を含め、引き続き検討する。	R4年度の体制が決まったので、時間当たり採算等財務課長と連携し作成を行う
・多様で戦略的な寄付金収入が必要	・税額控除対象法人になるための5年間の平均が3000円×100人になる寄付金収入	今年度寄付金収入 3,000円以上の方が 100名以上	話し合いには至らなかった	次年度はマーケティング係にて行う

令和3年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：法人本部（総務課）

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
雇用契約内容及び就業規則に関する説明	R4.1.6	土岐、山崎	・段階定年制及び就業規則に関する障がい施設職員への説明
顧問名鑑WEBミーティング	R4.1.7	西川理事長、安藤、土岐、山崎	・顧問名鑑からの紹介者に協力をいただき、明和会が抱える離職や人材育成等の課題解決についての提案の説明を受ける。
雇用契約内容及び就業規則に関する説明	R4.1.11	土岐、山崎	・段階定年制及び就業規則に関する障がい施設職員への説明
澤田社労士とのzoomミーティング	R4.1.12	西川理事長、安藤、八木、土岐、山崎	・明和会人事評価制度に関する今後の流れについて
雇用契約内容及び就業規則に関する説明	R4.1.13	土岐、山崎	・段階定年制及び就業規則に関する障がい施設職員への説明
かおる園及び障害GH入居者預り金管理状況確認立会	R4.1.21	山崎	・税理士法人エルムパートナーズ担当者による、入居施設（かおる園/障害GH）利用者預り金管理状況確認の立会
自立支援協議会事例報告会開催に関する打合せ	R4.1.25	山崎（小玉、平石）	・自立支援協議会の今年度事業として、事例報告会を開催するに際する事務局担当者の事前打合せ
自立支援協議会事例報告会（zoom開催）	R4.1.28	山崎、他18名	・障がい者の自立支援のための拠点整備を目的とし、前段として各関係事業所の現状等について事例に基づいた発表を行う。
箕口氏とのzoomミーティング	R4.2.9	西川理事長、安藤、土岐、山崎	明和会ビジョン2022策定プロジェクト開催に関する打合せ
顧問名鑑WEBミーティング	R4.2.14	西川理事長、安藤、土岐、山崎	明和会ビジョン2022策定プロジェクトの実施状況振返り
明和会ビジョン2022策定プロジェクト（zoomミーティング）	R4.2.23	西川理事長以下、課長職（2名）、施設長職（7名）係長職（2名）、主任職（1名）	明和会ビジョン2022策定プロジェクトメンバー全体でのzoomミーティング（SWOT分析）
社団法人代表理事とのzoomミーティング	R4.3.2	西川理事長、山崎	内部管理体制構築にあたっての相談
臨時特例交付金に関する打合せ	R4.3.8	西川理事長、課長職3名、事務局主任	介護職員処遇改善特例交付金内容及び賃金規程の変更について
第6回理事会議案内容等に関する事前打合せ	R4.3.17	西川理事長、竹原常務理事、課長職（4名）、事務局主任	第6回理事会に係るタイムスケジュール及び報告事項及び議案内容等についての確認
令和4年度明和会組織に関する説明	R4.3.18	西川理事長、竹原常務理事、課長職（4名）、施設長職（7名）、係長職（2名）	西川理事長より、令和4年4月からの法人内組織についてzoomにて係長職以上に内容説明がある。

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
箕口氏とのzoomミーティング	R4.3.18	西川理事長、安藤、土岐、山崎	明和会ビジョン2022策定プロジェクトの3月合宿に関する実施内容確認
新十津川町社会福祉協議会令和3年度第2回評議員会	R4.3.22	安藤、山崎	令和3年度第2回評議員会への参加（安藤：理事/山崎：評議員）
明和会ビジョン2022策定プロジェクト合宿	R4.3.26 R4.3.27	西川理事長、課長職（2名）、施設長職（7名）、係長職（2名）	明和会ビジョン2022策定プロジェクトの3月合宿（SWOT分析及び職務記述書の作成）
障害事業所連絡会議	R4.1.17	総合施設課長、障害事業所施設長	各障害事業所現況報告 他
施設長寿命化計画会議	R4.2.1	ドーコン 浅間氏 理事長、常務理事 土岐課長、安藤課長	明和会各施設における施設長寿命化計画に関する打合せ
経営会議	R4.2.7	理事長、常務理事、課長、施設長、係長、事務局	採算表及びアクションプランの説明と確認
障害事業所連絡会議	R4.2.28	総合施設課長、障害事業所施設長	各障害事業所現況報告 他
事業計画及び予算策定会議	R4.3.10	理事長、常務理事、課長、施設長、係長	令和4年度事業計画及び予算の説明と協議
次月打合せ	R4.1.31	法人事務局 小池、堀川、土井、田中	次月打合せ
次月打合せ	R4.2.22	法人事務局 小池、堀川、土井、田中	次月打合せ
次月打合せ	R4.3.29	法人事務局 小池、堀川、土井	次月打合せ 次年度打合せ

理事会/監事監査

会議名	開催日	参加者	主な議題
監事監査	R4.2.17	監事2名・理事長・常務理事・課長職・事業所施設長（4名）	<ul style="list-style-type: none"> ・業務/会計監査チェックシート確認 ・利用者預り金監査指導完了通知書内容確認 ・令和3年度第3四半期事業評価に対する質疑 ・決算資料報告に対する質疑 ・監事講評
第6回理事会	R4.3.25	理事長、常務理事、理事（4名）、監事（2名）、課長職（3名） 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度第3四半期事業、決算報告及び監事監査報告 ・令和3年度第3四半期理事長及び常務理事職務執行状況報告 ・令和4年度事業計画及び収支予算（案） ・令和4年度職員配置（施設長級）（案） ・正職員賃金規程の一部変更 ・有期契約職員賃金規程の一部変更 ・パートタイマー賃金規程の一部変更 ・社宅管理規程の制定 ・就労継続支援A型事業所各規程の制定 ・定款の一部変更 ・臨時評議員会開催
臨時評議員会 (書面開催)	R4.3.28	理事長、評議員（7名）、監事（2名）	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人明和会 定款一部変更について租税特別措置法第40条に適用した定款の一部変更並びに今回寄贈を受けた不動産の基本財産への編入について承認を求めた。

外部監査

外部監査名	開催日	参加者	主な議題
共同生活援助事業所 ホームピンネ	R4.1.21	坂本税理士 旭施設長 山崎	別添のとおり
本部事務所	R4.1.26	坂本税理士 西川理事長 飛渡 山崎	別添のとおり
放課後等デイサービス きつずでい ここ	R4.2.25	坂本税理士 古島施設長 山崎	別添のとおり
デイサービスセンター かおる園	R4.3.23	坂本税理士 高橋施設長 山崎	別添のとおり

○共同生活援助事業所 ホームピンネ

- 1) 過去3～4年の個別支援計画を確認すると記載内容がほぼ同一です。生活支援の内容は安定も大事な要素で、利用者によっては変化が無い場合もあるようですが、実際にはコロナ禍の中で外出行事を減らし、施設内行事を増やしたりしています。コロナ禍であっても新たなものに触れる機会や新たな経験ができる配慮をしつつ、それらを個別支援計画の記載に反映できないか検討願います。
- 2) 障害年金の関係で、養護学校を卒業してすぐに施設を利用せずに2年間家庭で過ごしてから入所する利用者が多く、その場合、家庭での自由気ままな生活の影響で入所後の支援が大変であるとのこと。経済面が解決し、養護学校卒業後すぐ入所できれば利用者のその後の生活と施設側の負担に大きなメリットがあると思われ。利用者のメリットを保護者に理解してもらうとともに、年金支給までの期間について法人からの貸付制度を設けるなど、卒業後の入所を後押しすることをご検討ください。
- 3) 昨年4月に改正された重度障害者支援加算Ⅱについて、申請した自治体によって対応に差があり、算定対象としている自治体がある一方、無回答の自治体が多いようです。適用の可否を申請した自治体に確認し、請求漏れとならないよう対応してください。
- 4) 人員配置基準と世話人の高齢化からは、3人の世話人が職員の採用が必要とのことですが、効率的な運営を心掛け人手不足感は無いです。しかし、いずれ世話人の退職により人員不足が予想されます。他の施設の有期契約のパート職員について、異動命令は出せないものの次期契約時には配置換えが可能です。法人全体で各施設の1人当たり労働時間や残業時間及び労働時間当収入金額などを比較検討し、まずは現状の人員を最適配置することをご検討ください。

○本部事務所

- 1) 令和3年4月以降、内部監査が実施されておられません。現状で法人内の内部牽制制度は理事会と監事監査のみです。せっかくの先進的取り組みも定着しなければ、逆に現場を混乱させてしまいます。定着させるために以下の点をご検討ください。
 - ①理事会が実施要領を決定し、定期的報告を求める。
 - ②監事監査との連携や位置付けを明確にする。
 - ③内部監査実施組織（委員会等）を正式に設ける。
 - ④年間事業計画を毎期作成する。
- 2) 経営会議について、開催日は決められているものの開催されておらず、全施設長が参集する会議が在存しない状態です。法人全体の方針、戦略を共有し、当事者意識やリーダーシップを醸成するためにも経営会議は必要と思われ。KPIの設定が財務数値中心となっている要因の一つと推測します。各職場のリーダーに財務の視点の他にも利用者や地域社会の視点、業務プロセスの視点、職員の学習と成長の視点を理解、定着させることが、有用なKPIの設定に繋がります。
- 3) 事業所大会はコロナ禍もありしばらく開催されておられません。3)と同様に法人の方針や戦略の周知、職員一人一人に当事者意識、リーダーシップを植え付けるためにもズームやWEBでの動画アップなどの開催方法も視野に入れ、開催をご検討ください。
- 4) BCP対策、感染症対策について、以前は事業所ごとに選出された委員が定期的に参集し会議を開催していましたが現在開催されておられません。情報の共有化や各施設の取組状況の確認のために定期的に開催することをご検討ください。

○放課後等デイサービスセンター きっずでいここ

- 1) 夏休みなどの長期休暇期間中の利用率が低下しています。コロナ禍で活動が制限され、自由にイベントなど開催できないのも要因の一つのようですが、長期休暇ならではの長い期間を利用して自由研究課題の設定や長期休暇中ならではの経験を提供するなど、利用者、家族が興味を持てる企画があれば、長期休暇中も積極的な利用に繋がる可能性はあると思われ。今後ご検討ください。
- 2) 待機児童が多い時期には8人となり、利用希望者の要望に応えきれない状況が続いております。花月町という決して良くない立地の中、滝川市など町外からの利用者（及び利用希望者）も多いこと。施設に人気がある証拠です。利用定員を増やす、又は、新たな拠点を設置するためには職員の確保や設備投資が必要ですが、明和会にとって大きな強みのある分野であると思われ。そこを強化拡大することはブランディング戦略としても有効と思われ。新拠点の設置など待機児童の解消についてご検討ください。
- 3) 上記2)のような状況を法人全体として把握するために、各施設の登録者数、待機者数、利用者数、利用率などのデータを前年対比した資料を作成するとともに理事会の報告事項とし、理事者や各施設長が情報共有できるようにすべきと思われ。今後ご検討ください。

○デイサービスセンターかおる園

- 1) 利用者のモニタリング報告を確認しましたが、利用者の変化や改善状況についての記載があまり見られません。家庭での日常生活の様子（例・ゴミ屋敷⇒整理整頓、清潔）も含め変化した項目などを具体的に記載し、次の計画に反映するようご検討ください。
- 2) 各施設に共通することですが、コロナの影響で登録者の利用頻度の減少により稼働率が低下しております。コロナ禍でも毎月あるいは定期的に開催でき、かつ、利用者が本当に楽しめる、集中できる行事を常に企画する必要があります。
- 3) 利用者の高齢化と介護度の上昇により通所回数が減っている利用者が存在するようです。登録者の構成

令和3年度

事業目標と結果 (事業所名：特別養護老人ホームかおる園)

(全体総括)

目標稼働率97%は達成できなかった。利用者さまの免疫力を上げて入院や体調不良を減らすことについて、食と心と体の活動を取り入れ効果もみえてきたが、稼働率には繋がらずもう少し細かな分析と回数が必要と思った。
 コロナ禍だからできないではなく、目先を変え、出来ることを増やす意識を職員が持てたことは次年度の活動に繋がると感じた。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
入院・入院による退所者が多い。	入院原因を予防する。 昨年度 入院者48名 ①肺炎⇒14名 ②腎盂腎炎⇒10名 ③骨折⇒2名	防ぐことのできる入院をなくす。 ①肺炎⇒0名 ②腎盂腎炎⇒0名 ③骨折⇒0名	今年度 入院者41名 ①肺炎10名 ②腎盂腎炎5名 ③骨折1名	次年度も継続し防げる入院を予防する。また、通院に関する多い項目に対するアプローチを行う。
利用者さまの認知機能と体力が低下している。	①体力測定(握力・TUG) ②DBD点数	全利用者が①・②数値の維持または改善する。	前回測定時から ①3割アップ 2割低下 5割維持 ②5割アップ 2割低下 3割維持	認知機能、体力の低下防止は心と体の活動として個別で行うことにより効果があったため、次年度も継続していく。

【運営報告】

事業所名：特別養護老人ホームかおる園

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	3,000	3,100	3,000	3,100	3,100	2,800	3,100	36,500
延利用人数	R2	2,811	2,856	2,874	2,976	2,942	2,897	2,980	2,801	2,851	2,882	2,685	2,131	33,686
	R3	2,845	2,962	2,917	2,961	2,910	2,866	2,898	2,847	2,947	2,818	2,574	2,889	34,434
稼働率	R2	93.7%	92.1%	95.8%	96.0%	94.9%	96.6%	96.1%	93.4%	92.0%	93.0%	95.9%	68.7%	92.3%
	R3	94.8%	95.5%	97.2%	95.5%	93.9%	95.5%	93.5%	94.9%	95.1%	90.9%	91.9%	93.2%	94.3%
事業活動収入計	R2	31,126	32,078	32,203	32,622	32,170	31,417	37,092	30,799	32,199	30,124	29,046	31,274	382,151
	R3	31,573	31,046	33,913	32,943	32,275	32,544	32,739	32,357	32,907	31,458	28,590	35,930	388,275
当期資金収支差額		-4,268	-4,170	-468	-3,301	-2,899	-1,923	-2,685	-3,528	-4,710	18,407	-6,989	-6,271	-22,805
職員数	40時間	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	-
	パート	13	13	13	13	13	14	13	14	14	14	14	14	-

令和3年度（1月～3月） 会議・委員会 事業所名：特別養護老人ホームかおる園

会議

会議名	開催日	参加者	主な議題
職員会議①	R4.1.5	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・特養稼働率 ・デイサービス稼働率 ・職員関係：退職者について ・行事関係：節分・ランターン・各フロア行事予定の進捗状況
職員会議①	R4.2.2	河村室長、高橋施設長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・特養稼働率 ・デイサービス稼働率 ・ショート稼働率 ・職員関係：勤務時間の変更・産休職員・退職者について ・行事進捗状況確認
職員会議①	R4.3.2	河村室長、高橋施設長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・特養稼働率 ・デイサービス稼働率 ・ショート稼働率 ・職員関係：退職者について ・職員の派遣に伴う勤務調整 ・入所待機者の状況
職員会議②	R4.1.18	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・アムバアクションプランについて ・時間最短、経費最小、利益最大に向けた各フロアの取り組み
職員会議②	R4.2.15	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、辻主任	<ul style="list-style-type: none"> ・アムバアクションプランについて ・時間最短、経費最小、利益最大に向けた各フロアの取り組み
職員会議②	R4.3.15	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・アムバアクションプランについて ・時間最短、経費最小、利益最大に向けた各フロアの取り組み
業務改善会議	R4.1.26	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアサポーター業務について ・浴室の使用について ・北海道まん延防止等措置期間の対応について ・夜勤帯のミーティングはfacetimeを活用し実施する ・フロア会議について
業務改善会議	R4.2.2	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナワクチン3回目接種の予定 ・週報月賦作成のルール ・床屋さんの予定
業務改善会議	R4.3.2	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の居室清掃、環境整備について ・入浴日の変更 ・清掃業務について ・コロナウイルス対策 ・ショートステイ利用者について

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
事故防止委員会	R4.1.5	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、玉置機能訓練士、勝山管理栄養士、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・12月事故・インシデントの確認 ・【インシデント】 ・1フロア：1件 ・2フロア：3件 ・3フロア：1件 ・自立支援：8件 ・事故研修会日程 ・報告書の記載について ・事故、インシデント時の対応について
事故防止委員会	R4.2.2	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、玉置機能訓練士、勝山管理栄養士、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・1月事故・インシデントの確認 ・【事故】 ・2フロア：1件 ・【インシデント】 ・1フロア：5件 ・2フロア：4件 ・3フロア：0件 ・自立支援：3件 ・事故の再発防止について ・施設長から
事故防止委員会	R4.3.2	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、玉置機能訓練士、勝山管理栄養士、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・2月事故・インシデントの確認 ・【インシデント】 ・1フロア：2件 ・2フロア：2件 ・3フロア：1件 ・自立支援：2件 ・2月インシデント再発防止について ・K Y T研修は動画にて配信、フロア会議で活用すること
感染症予防委員会	R4.1.5	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、高橋看護師、勝山管理栄養士、辻主任、上郡	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症流行情報の共有 ・感染症研修 ・施設の加湿について ・コロナワクチン3回目摂取予定、接種券
感染症予防委員会	R4.2.2	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、高橋看護師、勝山管理栄養士、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症流行情報の共有 ・感染症研修⇒嘔吐処理 ・コロナワクチン3回目摂取状況 ・かおる園コロナ・感染症対策について
感染症予防委員会	R4.3.2	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、高橋看護師、勝山管理栄養士、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症流行情報の共有 ・年間計画の反省・次回の課題 ・コロナワクチン⇒利用者終了：職員ほぼ終了 ・かおる園コロナ・感染症対策について
身体拘束適正化委員会	R4.3.15	澤岡介護員、吉中介護員、楠主任、小杉山相談員、小暮介護員、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・施設全体目標の評価⇒職員が意識してできている。 ・特にマスクをしているため、利用者さまには身振り手振り、目の表情に注意し対応している。 ・フロア目標の評価 1フロア「しゃべりだしは笑顔で」⇒忙しいときに声が大きくなる職員もいるが目標を表示したことで意識し対応している。 2フロア「利用者の立場にたって行動」⇒急な立ち上がりをするご利用者様へは意向を確認するなど、行動を制限しないようできている。 3フロア「ちょっと待ってねの前に一言つけよう」⇒職員意識できている「〇〇だから待ってほしい」と利用者さまに説明し対応している。 ・次年度のスローガン 「みんなで考え、お互いに注意をし合って身体拘束・抑制をしない！」

衛生委員会	R4.2.15	今泉主任、吉中介護員、高橋施設長、勝山管理栄養士、辻主任、西川機能訓練士、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・職員アンケートについて ・職員の事故について⇒利用者さまから叩かれたり、抓られて体に痣ができることがよくある ・社用車のタイヤの確認 ・非常口周辺的环境整備：確認整理整頓してください ・園内の巡視実施
給食委員会	R4.2.15	吉中介護員、高橋施設長、勝山管理栄養士、林管理栄養士、楠主任、辻主任、グリーンハウス山下栄養士、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・「腸内環境を整え下剤0を目指す食事」 「腸内環境を整えつつ、楽しみになる、美味しい食事内容の検討」※麦飯を開始しての変化について ・フロア行事について ・献立について ・1つのフロアを対象に1ヵ月集中的に腸内環境を整える対応を検討する(サンファイバーやオリゴ糖等) かかる量や費用については林栄養士が計算し、施設長へ提出。 ・次年度職員異動があった際には異動先の場所を厨房へ連絡する
給食委員会	R4.3.15	吉中介護員、高橋施設長、勝山管理栄養士、林管理栄養士、楠主任、辻主任、グリーンハウス山下栄養士、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・「腸内環境を整え下剤0を目指す食事」 「腸内環境を整えつつ、楽しみになる、美味しい食事内容の検討」※粥の日どうだったか ・おかゆの日の評価(2/28) 告知がないため、印象に残っていない 毎月月末の昼食に提供していく もう少し出汁など、味が感じられるといい ・おからのサンドイッチの評価(3/15) 利用者様の中で、中身のみ食べている方もいた 告知がないため、告知をして欲しい パサつきが気になるため工夫してほしい⇒おからに牛乳をまぜるなど、工夫してみる ・来月人参のサンドイッチ(人参とシーチキン) ・朝食のポテトサラダやうの花にもおからが入っているので、注意をして見てほしい ・告知はポスターや園内放送を利用する ・ただ食べているだけでは効果があまり感じられないため、運動との組み合わせが必要 ・3/25 ネバネバ丼 キノコの味噌汁 ポテトサラダ 4/1 開園記念日 赤飯 4/29 昭和の日 ちらし寿司(予定) ・園栄養士で下剤の使用数・通院数・入院者数を毎月確認し、何を工夫したのか、前月と何がどう変わったのか、数値化してほしい →下剤の使用記録が入っていないことが多いため、ケアパレットに下剤の記入欄を作成できるのか確認
褥瘡予防・医療的ケア委員会	R4.1.5	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、勝山管理栄養士、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア皮膚トラブル⇒改善に向けたケア ・褥瘡予防計画書進行状況
褥瘡予防・医療的ケア委員会	R4.2.2	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、勝山管理栄養士、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・一般浴の塩素濃度が濃い為、入浴後、ご利用者様のシャワーでの掛け湯を徹底すること。また、入浴介助後の職員の足も、水虫予防の為しっかり洗うように注意すること ・各フロア皮膚トラブル⇒改善に向けたケア ・褥瘡予防計画書進行状況
褥瘡予防・医療的ケア委員会	R4.3.2	河村室長、平主任、今泉主任、瀧澤主任、楠主任、勝山管理栄養士、辻主任、上郡施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア皮膚トラブル⇒改善に向けたケア ・褥瘡予防計画書進行状況

令和3年度（1月～3月） 行事 事業所名： 特別養護老人ホームかおる園

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
たこ焼きレク	R4.1.26	29人	1フロア利用者23人 職員6名
調理レク	R4.3.17	30人	2フロア利用者24人 職員6人
鍋レク	R4.3.18	33人	3フロア利用者23人 職員10人
お神酒回り・書初め会	R4.1.1	101人	利用者96人 職員5人
冬のランタン夜会	R4.2.12	125人	利用者97人 職員28人

令和3年度

事業目標と結果 (事業所名：自立支援研究室)

(全体総括)

令和3年度から発足され、前年度平均稼働(94.3%)より今年度平均稼働(96.6%)は良かったものの、利用者の心身状態の改善を目的としたチームとしては、まだまだ課題が多く残っていると感じる。プラン通りにケアを実践していくことやその過程に必要な記録の整備である。また、そのために必要な部署内の職員のレベルアップや人員の確保も次年度に向けて必要な課題であると言える。しっかりとした職員の育成プロセスの構築と魅力的な職場・働きがいのある職場をつくっていく必要性を感じている。カッコいい介護現場のチームを目指して次年度も取り組んでいきたい。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
利用者が自立するまでのノウハウが確立していない。	改善ケース数	20件以上	5件 年間を通して、改善ケースは5件ほどあるが、排泄や食事、歩行等一部のみの改善で改善状況を維持できなかったケースも見られている。	目標とする状態を目指した改善の事例が必要であることと、プレゼンテーションの形式に出来るようにすることで全体像やどのように改善をしたのか、わかりやすくする必要性を感じている。次年度に向けて取り組んでいく。
	個別データ件数	28/28件	28/28件 毎月の個別のデータについてはある程度管理できているが、動画のデータや歩行の記録について一部不足がある。	
	外部で事例を作成・発表した職員数	自立支援介護・パワリハ学会学術大会(6月)2名 全道老協研究発表会(7月)2名 地域向け勉強会(11月)1名	研究発表等への参加がほとんどできなかった。専門学校での事例報告を行った。	部署の職員の成長し、知識や技術を高め合うことが必要と感じている。そのために育成する側・される側の共に具体的な方法を定め、定着させていくことが必要である。次年度に向けて取り組んでいく。

令和3年度

事業目標と結果 (事業所名：短期入所生活介護かおる園)

(全体総括)

昨年度と比べても、稼働の状況が良好であった。
 (今年度月平均稼働：85.4% 令和2年度延べ利用者数：1150⇒令和3年度延べ利用者数：1871)
 今年度稼働が好調であった要因として、数名の施設入所者がいたものの在宅生活の継続が来ている状況が見られていたことが考えられる。そのため、新規利用者が増えれば増えるほどに稼働が安定しており、リピーターが継続して利用してくれている為、次年度の4月・5月の予定もすでに100%の稼働を超える予定となっている。
 今後は稼働よりも利用者の生活状況の改善に軸を置いて取り組んでいくことで、結果として稼働も安定していくと考えられる。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
レスパイト目的のショートステイが多い	レスパイト目的以外の利用者数割合 前年度利用割合 レスパイト：80% 本人希望：15% 冠婚葬祭：5%	レスパイト目的以外の利用者数割合 50%	・レスパイト（家族の都合）の利用がほとんどで、ご自分でショートを使いたいと希望されて利用された方は、年度を通して2名ほどしかいなかった。	・利用の目的がレスパイトでも、利用された結果として状態が改善していくことで、そのような目的をもって利用して頂ける方が増えていくと考えられる。来年度は利用者の改善していくことの出来る体制・ケアを意識してサービス展開をしていけるようにする。
新規利用者が獲得できない	新規獲得利用者	新規契約者数12名	年間新規契約者数14名	
家族へ自宅でできる介護への助言ができていない、利用中の様子を伝えられていない	施設入所者数 昨年度4名	施設入所者数0名	施設入所による短期入所利用終了者3名	

令和3年度

事業目標と結果

(事業所名：デイサービスセンターかおる園)

(全体総括)

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触（利用者）に伴い2月に1週間ほど稼働停止した期間がありましたが、影響をさほど受けず通年稼働することが出来、利用者、職員が健康に過ごせたことが第一に喜ばしいことです。
しかし、昨年度と比較して登録人数がほぼ変わらず、稼働率を維持向上させることが出来なかったことが、残念な結果になっています。介護度が上がることで、在宅介護を続けられる家庭が少なくなってきたことは明白であり、今後もいかに在宅生活を長く続けていただき、効果的なサービス提供を展開していただけるのがデイサービスの役割であると考えられます。

課題・重点	目標項目	目標水準	結果	次年度へ向けて
収入が、不足しており必要物品の購入や行事計画を実施するため、稼働率を上げる必要がある。	稼働率	稼働率96.1%	稼働率 1月→87.2% 2月→85.4% 3月→80.3%	登録人数は全曜日上限に達したがショートステイ利用や体調不良による利用キャンセルが続出し、思いうような稼働率上昇に繋がらなかったが、引き続き登録者を維持し稼働の向上に繋げたい。
生活をともにする家族の介護力として、自宅でできる介護への助言ができていない。	入所による利用終了者	0名	入所による利用終了者 1月→0名 2月→2名 3月→1名 (死亡による利用終了者1名)	早期対応が行えるようケアマネと情報共有を強化する。また、送迎時や連絡帳を活用しご家族との情報交換も強化する。
高齢になり本人の健康意識が低下している。	入院による利用終了者	0名	入院による利用終了者 1月→0名 2月→0名 3月→0名	1日でも長く在宅生活を続けられるよう、介護予防や身体機能の低下を防ぐ体操を積極的に取り入れていただけるサービスを提供する。
職員が「やりがい」や「楽しさ」を持ち働ける事業所を創ります。	職場満足度	総合評価 10段階中7以上	未実施。 面談の中で日頃の業務負担や課題解決に向けて共有している。	満足度を図るアンケートは未実施。 個人面談の中で情報共有を図った。

【運営報告】

事業所名： デイサービスセンターかおる園

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基準人数		660	630	660	690	630	660	660	660	660	600	600	690	7,800
延利用人数	R2	519	516	574	596	553	589	600	543	581	537	533	602	6,743
	R3	545	487	506	553	575	561	549	569	567	519	410	554	6,395
稼働率	R2	78.6%	81.9%	87.0%	86.4%	87.8%	89.2%	90.9%	82.3%	88.0%	89.5%	88.8%	87.2%	86.5%
	R3	82.6%	77.3%	76.7%	80.1%	91.3%	85.0%	83.2%	86.2%	85.9%	86.5%	68.3%	80.3%	81.9%
事業活動収入計	R2	4,647	4,635	5,117	5,252	4,816	5,068	6,183	4,826	5,100	4,475	4,952	4,475	59,545
	R3	4,610	4,052	4,682	4,868	4,985	4,737	4,706	4,978	4,923	4,668	3,817	4,895	55,921
当期資金収支差額		-719	-863	-50	-144	331	166	-123	427	655	-13	-658	-1,709	-2,699
職員数	40時間	7	7	7	6	6	6	5	7	6	6	6	6	-
	パート	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	-

令和3年度（1月～3月） 行事 事業所名：デイサービスセンターかおる園

行事

行事名	開催日	参加人数	参加者
デイカフェ	R4.3.29	利用者22人 職員7人	当日利用者 当日勤務者

委員会

委員会名	開催日	参加者	主な議題
感染対策委員会	R4.1.18	長田施設長、岡本主任、本田、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・感染症発症状況について ・新型コロナウイルス関連情報について ・資材確認
事故予防委員会 安全委員会	R4.1.18	長田施設長、岡本主任、本田、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・ヒヤリハットの報告、改善策について ・喀痰吸引の実施状況等について
虐待防止委員会 身体拘束廃止適正化委員会	R4.1.18	長田施設長、岡本主任、本田、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・虐待を防止し、権利擁護に配慮した支援について 日頃のふりかえり
苦情解決委員会	R4.1.18	長田施設長、岡本主任、本田、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・気づかない相談、苦情について ・相談、苦情に対する支援について
感染対策委員会	R4.2.16	長田施設長、本田、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・感染症発症状況について ・新型コロナウイルス関連情報について ・資材確認
事故予防委員会 安全委員会	R4.2.16	長田施設長、本田、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・ヒヤリハットの報告、改善策について ・喀痰吸引の実施状況等について
虐待防止委員会 身体拘束廃止適正化委員会	R4.2.16	長田施設長、本田、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・虐待を防止し、権利擁護に配慮した支援について 日頃のふりかえり
苦情解決委員会	R4.2.16	長田施設長、本田、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・気づかない相談、苦情について ・相談、苦情に対する支援について
感染対策委員会	R4.3.15	岡本主任、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・感染症発症状況について ・新型コロナウイルス関連情報について ・資材確認
事故予防委員会 安全委員会	R4.3.15	岡本主任、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・ヒヤリハットの報告、改善策について ・喀痰吸引の実施状況等について
虐待防止委員会 身体拘束廃止適正化委員会	R4.3.15	岡本主任、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・虐待を防止し、権利擁護に配慮した支援について 日頃のふりかえり
苦情解決委員会	R4.3.15	岡本主任、河村、矢部、倉田、山本、梶川、新谷	・気づかない相談、苦情について ・相談、苦情に対する支援について